

解れゆくきみが最後に思い浮かべるのが溶けたアイスクリームだとしたら。





迷宮が崩壊し
俺たちの
冒険は終わった



ファリンは救われ
ライオスは王になり

パーティーは
それぞれの道を
歩き出す

めでたし
めでたし
ってなもんさ



チルチャック

これからも
ずっと

俺のそばに
居てくれないか？



ははっ

そりゃ
無理な話だ

ここでお別れ

さよなら

バイバイ だ

だって
そうだろ？

物語は
ハッピーエンドで
終わらなきゃ
いけないんだ

解れゆくきみが最後に思い浮かべるのが
溶けたアイスクリームだとしたら。

それは
或る晴れた日の
朝に始まった

は…？

何だこれ…

え？

は…

なんで…

違和感に
蝕まれていく

身体が根本から
創り変えられたような
感覚

思いたすのは
あの本を持って逃げた時――



瞬間

長い長い邂逅

でも俺は
あの悪魔の誘いには
乗らなかつたはずだ



ッッ

チリッ



おかしい

違う

間違っている

ハア

俺は
こんなこと
望んでいない

ハア

ハア

ハア

こんなの
願いた
んか
じゃない……

呪いだ

俺は 何を叶えて 何を奪われた？







夢…？



なんだ
この気配…

やけに
胸がざわつく

トン

トン



感情が制御できない

なんで
お前のことを
考えると



悪趣味
過ぎる…

ナイトメア
とかじゃ
ないよな？

カタッ

この足音は…
ライオス？

父
兄
子
弟
兄

妹
弟
兄
弟
兄

こんなにも
頭の中が
ぐちゃぐちゃに
なるんだ？



ハア
願い？

俺は誰かに
叶えて欲しい
願いなんてないよ



まあ
あえて言うなら
俺の望みは…

そうだな



美味い酒が
飲みたい！

！！



なんだよ
呆れてんのか？

いやいや

こんな
クソみたいな
世界で

美味い酒を
飲むのって
案外難しいん
だぜ



家族や仲間
同胞たちが

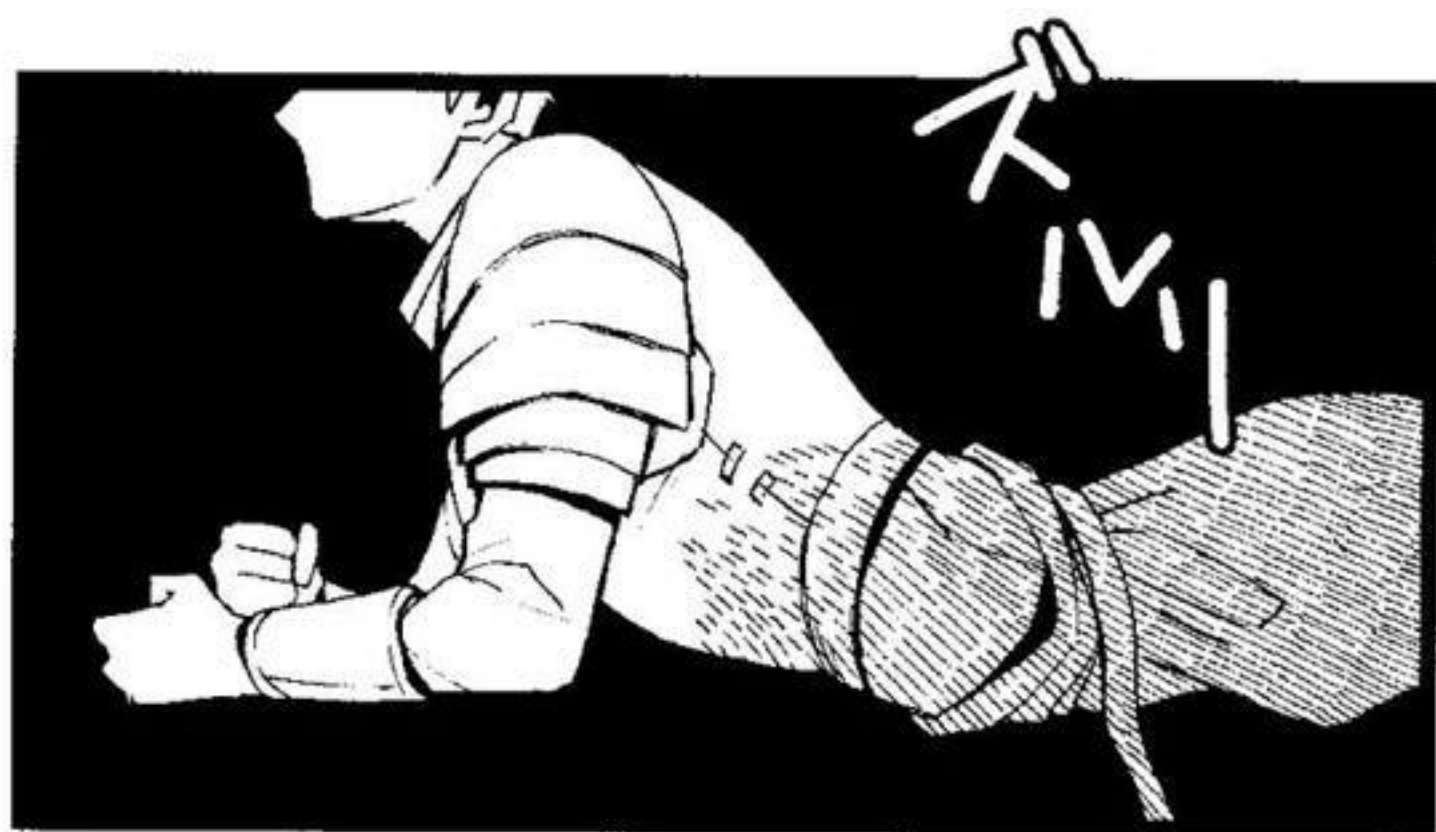
理不尽に
晒されない
生活を
保障されて

やっと
美味い酒が飲める









夜を怖いと
感じたことは
あるか？







ああ来たか

聞きたいのは
酷く哀れで
ちっぽけな

あのハーフフットの
ことだろうか？



可哀そうに

ほんのささやかで
粗末な願いに
その身を墮としたのに

お前に
嫌悪感を抱かずに
いられない



：
どうしたら
チルチャックは
元に戻る？

呪いを排除するのは
実に簡単さ

悪魔を
形而下に縛り付けた

欲望さえ消化する
とびきりの

許しがたき冒涇の
かたまり

「おまえ」の
一部を
与えればいい

もっとも
効率的で確実な
方法は――

ホソツ

は
な……にを……

カツ

どうだ
簡単だろう？

お前の罪悪感を
ほんの少し
犠牲にするだけで
アレを
救うことができる



さあ
ライオス

気がついたら
窓のない
部屋にいた

あれから
何日たったの
だろう



繰り返される
悪夢の様な行為

夜は
何度でも
やってくる

あ

あっ

あっ…

ああッ





これはライオスなのか？

何度も欲に貪られて

今はもうわからない



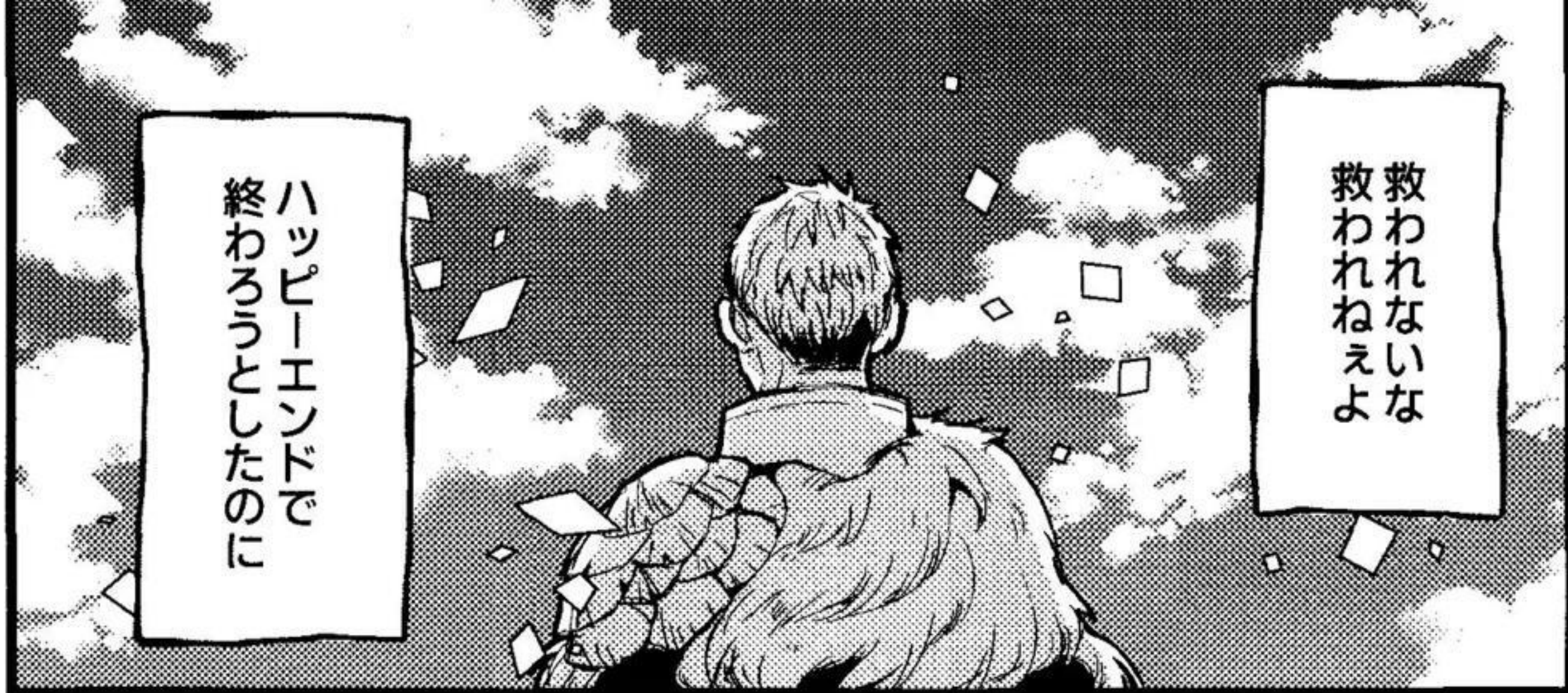
顔が見えない

声もきこえない



ああ…
やっと理解した

俺はお前に
応えたかったんだ



救われないな
救われねえよ

ハッピーエンドで
終わろうとしたのに



バカみたいだな
俺の未練が
邪魔をする

あああ

うああああ

あああああッ

その結果どうだ？



俺はお前を
永遠に失った



最悪だなんて
心外だな

望みどおり

『愛されてる。』

ライオスを
見るといい

欲望に
忠実じゃないか

呆れた偽善に
涙すらでるよ

やめろ…

お前のためと
言いながら

毎夜必死に
お前の上で
腰を振っている



さあ
自分に正直になれ

望みさえすれば
全てが手に入る

そのあさましい願いで
私に欲望を取り戻させてくれ

おぼえている

あいつの
柔らかいまなざしを



俺を呼ぶ時の
少し上ずった声を

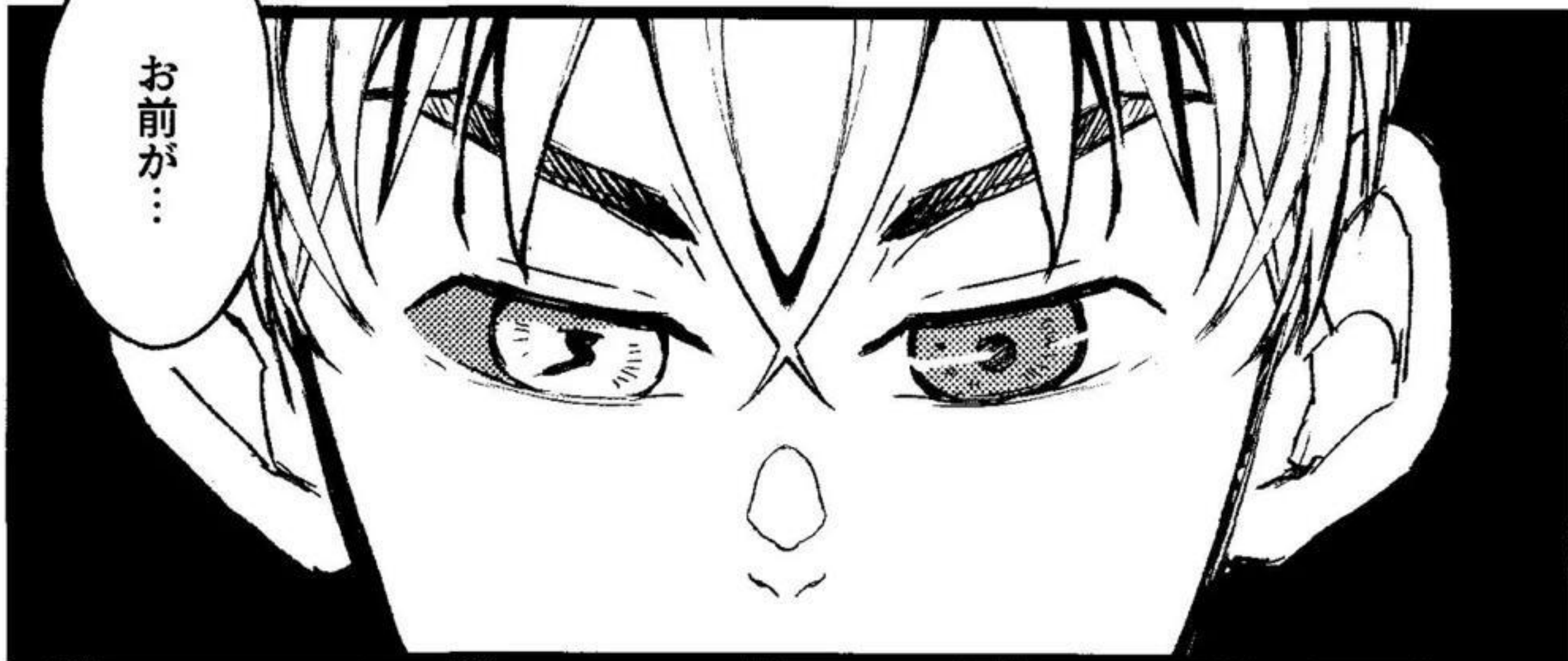


暖かい手のぬくもりを



全部 覚えているから

お前が…





お前が
アイツを
語るな



は？

コ
ノ
ヤ
マ



なんて愚かな

諦めた分際で
なお想うのか

どうせ報われない
あるのは後悔だけだ

黙れ

やっとわかったよ

俺がバカだった

ものわかりが
良いフリして
逃げるのはやめだ

意思のない想いを抱えて
未来を生きるくらいなら

自分で選んで
後悔するさ



なんて愚かな

諦めた分際で
なお想うのか

どうせ報われない
あるのは後悔だけだ

黙れ

やっとわかったよ

俺がバカだった

意思のない想いを抱えて
未来を生きるくらいなら

自分で選んで
後悔するさ

ものわかりが
良いフリして
逃げるのはやめた





これが俺の
答えだ



チルチャツク
…

やっと声が
届いた…



なんだよ
ここにいたのか



すまない

俺は…
俺はこんな…

大丈夫
わかってる

全部
俺を救うため
だったんだろ？

ライオス
これは愛じゃない

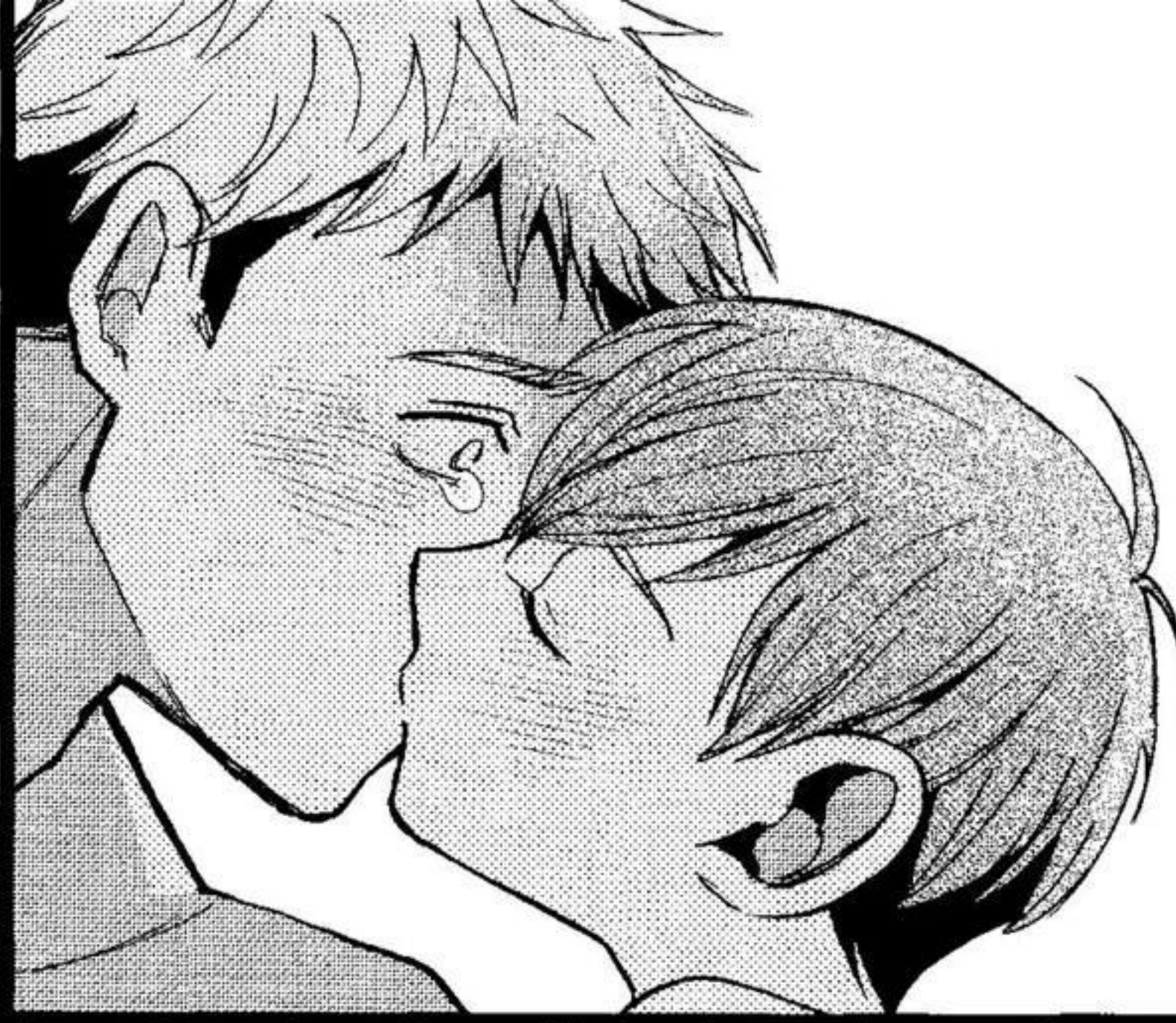
うん

たぶん
恋でもない

うん

だけど…
情はある

じゃあ
その情に
訴えてもいい？



好きにしろよ



チル：
本当に良いのか？

は

今まで散々
やっというて
今更：

はっ

はあ



んっ

んんっ

あ…











チルチャック…

はあ

はっ

あ

あうっ

あっ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ぶ

ぶ

ぶ

ぶ

ぶ

ぶ

はあ

はあ



…ごめん

やり過ぎた…

反省。。。。

…
チルチャツク

あの時の言葉を
もう一度言うよ

これから
ずっと

俺のそばに
居てくれないか？

…
一応やり過ぎた
自覚はあるんだな？

つい最近まで
童貞だったくせに
どこで覚えたんだよ

もど…

ケホッ

本当にごめん

君があまりにも
可愛いから
つい
。。

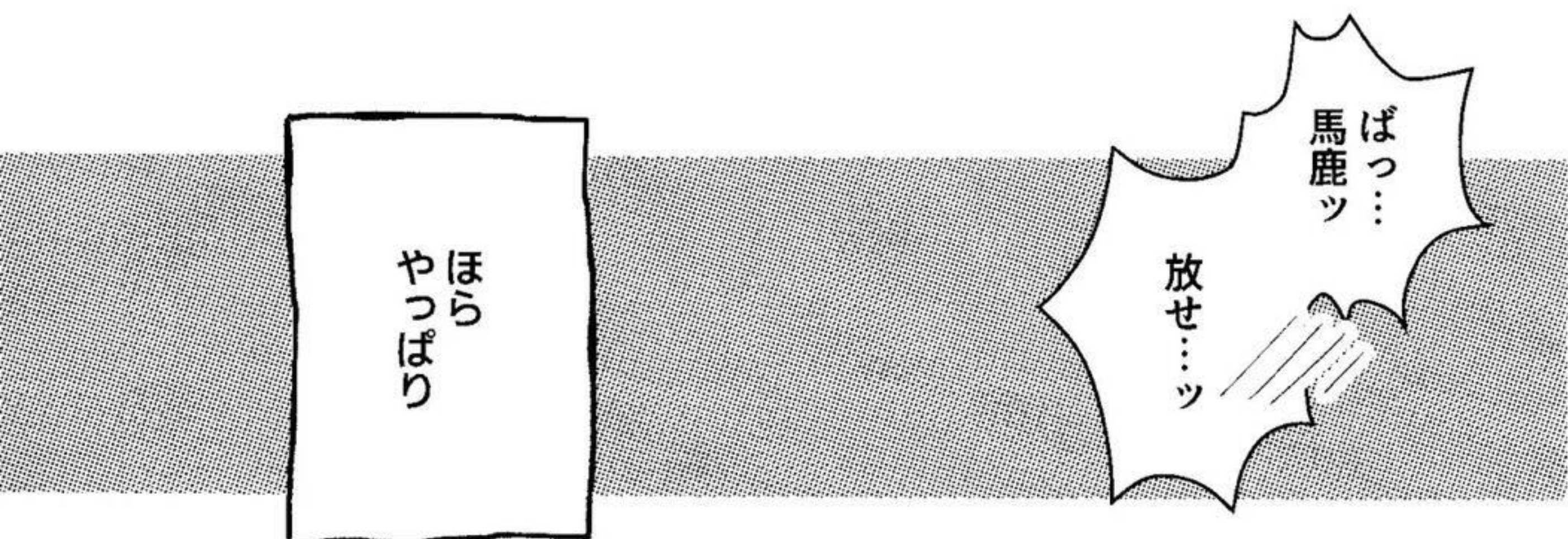
…そりや
無理な話だ

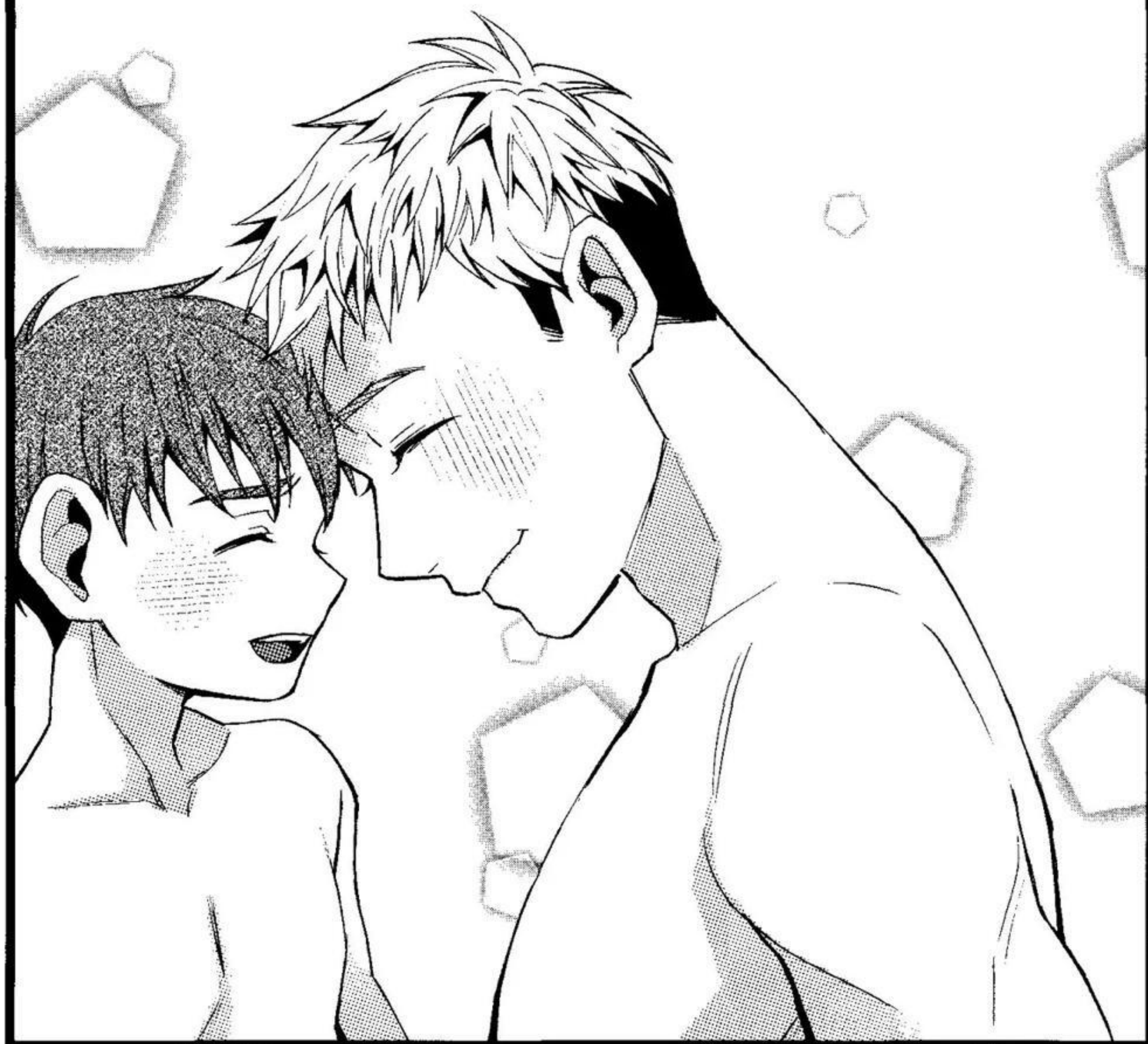
でも
そうだな

3年欲しい

組合を確立させて
店の方も
信頼できるやつに
託したら

その時は…





物語は
ハッピーエンドで
終わらなきゃ
いけないんだ

「解れゆくきみが最後に思い浮かべるのが 溶けたアイスクリームだとしたら。」

Delicious in Dungeon Fanbook.vol.1

発行日：2024/10/27
発行者：LOT-4(もげお)
印刷所：くりえい社様
連絡先：lot4@nifty.com
SNS：[@majimogeri(x)]
[386630(Pixiv)]

お読みいただき
ありがとうございます。
感想やメッセージなど
いつでもお待ちしております！



※この本はフィクションであり実在の人物、会社等とは一切関係ありません。
関係者や一般のファンなどの目の届かない所で密やかにお楽しみ下さい。
また、ネットオークションへの出品、画像・文章の無断複製・転載の一切を禁止します。



だ
と
し
キ
ア
イ
ス
ハ
ル
カ
ワ
ナ
イ